



姉妹都市を訪問しました!

国際交流事業

ドイツ訪問団報告



11月14日(日)から11月18日(木)にかけて、団長である広瀬市長を含めた7名のドイツ訪問団が下野市の姉妹都市であるドイツ・ヘッセン州のディーツヘルツタールを訪問しました。私も訪問団の一人ですが、姉妹都市及びドイツという国の様子をお伝えしたいと思います。



まず、成田国際空港からフランクフルト国際空港までは約12時間かかりました。そこからバスに乗ること約1時間30分、ディーツヘルツタールに到着すると、まずは市役所に案内され、各ホストファミリーとの顔合わせを行いました。今回の姉妹都市訪問では皆ホームステイでした。

私が今回の訪問で一番気に入った場所は11月16日に行ったホルダーベルク総合学校です。日本で言ったら小学校高学年と中学校、高校の途中までを一緒にしたような学校でしょうか。入学時に4年制と6年制のどちらかを選択するそうです。6年制選択の高学年の子たちは日本の高校生と同じような年齢になります。学校訪問で忘れられないのは、休み時間中の生徒に「Guten Tag! (こんにちは)」と挨拶するとカタコトの日本語で「コンニチハ!」と元気に返してくれたことです。これは学校訪問の時だけではなくドイツ訪問全体で感じたことですが、今まで私が抱いていたドイツ人のイメージは間違っていたことが判明しました。どんな人もこちらから挨拶すれば笑顔でGuten Morgen! (おはよう) や Guten Tag! を返してくれます。そして笑顔が老若男女カワイイ。子供の屈託のない笑顔はもちろんですが、おじさんとおばさんだって、むしろ、おじさんとかおばさんの方が普段の硬めの表情とのギャップで可愛く見えたりします。下野市のみなさん、挨拶をする際は笑顔を忘れないようにしましょう!



ドイツに滞在した日数は3日間という短い期間でしたが、初めはどうなるかと思ったホームステイも、ドイツ語会話帳の指差しと流暢でない英語で乗り切りました。意外と何とかなるものです。私のホストファミリーは5年ほど前に旧石橋町に来たことがある人でした。姉妹都市の人たちは下野市を今でも好きでいてくれていると感じました。ディーツヘルツタールの市役所には旧石橋町時代の交流からの記念品が綺麗に飾られてあります。これからもこの交流が長く続くことを願いながら帰国の途につきました。(文：川口)

問い合わせ先 生活安全課 ☎40-5555